

病院長名	上林 弘和
所在地	〒494-0001 一宮市開明字平1番地
交通案内	名鉄一宮駅より名鉄尾西線（玉の井方面）に乗車「開明」駅下車「開明」駅より一宮西病院まで、徒歩約10分 【バスをご利用の場合】バス一宮コース 右回り 左回り 「一宮西病院」下車

病院の特徴

一宮西病院は愛知県一宮・尾張西部地域の救急・急性期医療を担う総合病院です。2009年（平成21年）11月に一宮市開明に新築・移転し、より救急医療が充実致しました。

11階建ての病院内では、一般急性期病棟に加え、ICUや手術室、専門診療科外来や救急外来など多岐にわたる医療を展開。血管内治療センター、マイクロサージャリーセンター、ハートセンターをはじめとする多数のセンターで高度専門医療も実施、2020年からは尾張西部医療圏で唯一となるSCU（脳卒中集中治療室）を有する脳卒中センターも始動しました。

2022年度救急車搬送台数10,570台、救急外来ウォークイン数20,900名とエリアで圧倒的な救急受入れ実績を誇っております。

また、現所在地の南側に、地上11階、延べ床面積約3.6万㎡の「南館」を建築しております。2023年7月完成後の一宮西病院としての総敷地面積・延べ床面積はともに約2倍、ベッド数は約1.63倍（490床→801床）、屋上にはヘリポートも付きドクターヘリの着陸も可能となり、医療法人としては県下最大規模の病院になります。救急・急性期医療からがん医療、在宅復帰支援機能まで“垣根のない医療”を提供できる機能を備え、これまで以上に地域医療に貢献してまいります。

研修プログラムの特徴

【研修プログラム名】
一宮西病院内科専門研修プログラム

【研修目標】
個々の患者に最適な医療を提供する計画を立て実行する能力を習得する。
「研修手帳（疾患群項目表）」に定める全70疾患群を経験し、200例以上経験する。

【研修期間】
3年（最短）

【研修スケジュール】
専門研修（専攻医）1年目、3年目の2年間、基幹施設である一宮西病院で研修を行い、専攻医2年目の1年間連携施設で研修します。

連携施設での研修時期は3年間のうち2年目の1年間を原則としますが、専攻医の希望ならびに研修進捗状況等と照らし合わせながら、プログラム管理委員会で調整します。

また、内科専攻医期間中に Subspecialty 研修も可能であり、いち早くスペシャリストになれる研修プログラムとなっております。

内科専門医取得後で取得可能な Subspecialty は循環器内科・消化器内科・内分泌糖尿病内科・呼吸器内科・脳神経内科・血液内科があり、今後は腫瘍内科・腎臓内科専門医取得も目指してまいります。



主な連携施設

【内科専門研修連携施設】東京医療センター、千葉西総合病院、聖マリア病院、浦添総合病院、愛知医科大学病院、尾西記念病院、聖隷浜松病院、飯塚病院、倉敷中央病院、海老名総合病院、総合犬山中央病院、美濃市立美濃病院

【専攻医へのメッセージ】

一宮西病院は基幹施設3領域、連携施設15領域の研修プログラムを持つ総合病院です。全国の有名病院との連携により様々な専門医資格を取得することが可能です。多くの連携施設では多くの専門領域の指導医のもとで、豊富で多彩な症例と高度な医療を実践できます。また、症例発表はもちろん、臨床的、基礎的研究を行う素地が整っていますので、レベルの高いリサーチマインドの素養をも修得できます。

多種多様な連携体制が豊富な症例の蓄積から診断や加療といった知識の習得を実現し、専門医を目指します。

メッセージ

指導医（プログラム統括責任者 田中 伸享）

【内科専攻医へのメッセージ】

当院では多様に富んだ医師が多く在籍しており全人的、臓器横断的に診断・治療を行う基本的診療能力を養うことが可能です。

内科系救急医療のみならず、慢性疾患に対しても、良質な健康管理・予防医学と日常診療を任務とする内科診療を実践でき、多くの連携施設での研修の場はそれをより充実したものとしています。

2023年7月に病院拡大を控えており、症例数や経験できる領域は益々拡大をしていきます。

魅力的な医師・コメディカルが多く在籍しておりますので、まずは一度ご見学にお越しください。

募集要項

・採用予定人数	10人
・給与/月額	667,000円 諸手当別途
・当直回数/月	2回~4回
・当直料/回	35,000円~48,000円
・その他	
・応募連絡先	担当者 人事部 神谷 圭亮 電話番号 0586-48-0033 Eメール k-kamiya@anzu.or.jp